

オーガナイザー

教育研究開発センター 教授 村田 顕也
教育研究開発センター 講師 佐々木 洋子

I 授業の目的

医学は、病める人の治療はもちろんのこと人々の健康の維持増進を図ることを目標としている。この目標を達成するために、専門職集団である医師には、医業の独占権や自律権や経済的報酬が社会から与えられ、一方社会に対しては、患者の福利優先の原則、患者の自律性に関する原則、社会正義の3原則に加えてプロフェッショナルとしての能力に関する責務を負っている。医学概論 II では、専門者集団（プロフェッション）と社会との契約を理解し、医師の職業倫理を学ぶ。

II 到達目標

1. 医師の基本的責務について説明できる
2. 医師患者関係について説明できる。
3. 医師とその他の医療関係者と連携が理解できる。
4. 医療職（医師（キャリア教育を含む）、看護師、保健師、臨床工学技士、理学療法士・作業療法士など）の役割とチーム医療の一員として医師に要求されることが理解できる。
5. 医師と社会との関係が理解できる。
6. 医療と法律（患者の自己決定権を含む）について説明できる。
7. 臨床倫理の基本的問題が理解できる。
8. 死生学について理解できる。
9. 災害医療の現状と課題を概説できる。
10. 新規感染症に対する医療上の問題点と課題について概説できる。
11. 臨床研究を行う上でのノウハウや研究の質の担保、国際発信への仕方について理解できる。
12. 知的財産管理や医療シーズを知的財産にし、特許出願まで進める方略が理解できる。
13. 在宅診療の問題と課題について理解できる。
14. 医師のキャリアについて考える事ができる。
15. 医師のワークライフバランスを考える事ができる。

III 教育内容

上記の内容を本学教員および外部講師によるオムニバス形式で行う。

IV 学習および教育方法

講義を中心とし、事例検討やグループワーク演習も取り入れる。

V 評価の方法

各講義のレポート（70%）と授業態度（グループワークを含む）（30%）により評価する。

卒業時コンピテンシ	1 基盤的資質				2 医師としての基本的資質				3 コミュニケーション能力				4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科学的)探究				7 社会貢献						
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	ITの利用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	フレネーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動
医学概論II	レベルD	レベルE	レベルF	レベルC	レベルC	レベルC	レベルC	レベルC	レベルC	レベルE	レベルE	レベルE	レベルE	レベルE	レベルE	レベルD	レベルE	レベルE	レベルE	レベルD	レベルD	レベルD	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルD	レベルD	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルE	レベルD	レベルD	レベルF	

講 義 日 程 表

No.	月日	曜日	時 限	項 目	担 当 科	担 当
1	R5.11.2	(木)	3	医師の基本的責務 プロフェッショナリズム	教育研究 開発センター	村田 顕也
2	R5.11.2	(木)	4	医師と患者、医師相互の関係、医師とその他の 医療者	教育研究 開発センター	村田 顕也
3	R5.11.9	(木)	3	災害医療(在宅人工呼吸器装着者の災害 対策)	和歌山市保健所	谷井 朋子
4	R5.11.9	(木)	4	死生学	月山チャイルド ケアクリニック	窪田 昭男
5	R5.11.16	(木)	3	医療と法律 (医療の倫理規範、患者の権利、医師法)	教養・医学教育 大講座(法学)	神谷 隆一
6	R5.11.16	(木)	4	未定		
7	R5.11.30	(木)	3	在宅訪問診療の実際 1	たぶせ在宅 クリニック	田伏 弘行
8	R5.11.30	(木)	4	在宅訪問診療の実際 2	たぶせ在宅 クリニック	神崎 和紀
9	R5.12.7	(木)	3	「Work-Life Balance and Health Promotion」	島根大学地域医療 支援学講座	佐野 千晶
10	R5.12.7	(木)	4	COVID-19 感染症に対する紀北分院の取 り組み	紀北分院内科	梶本 賀義
11	R5.12.14	(木)	3	研究発信と国際交流	生体調節機構 研究部	改正 恒康
12	R5.12.14	(木)	4	研究発信と国際交流	生体調節機構 研究部	改正 恒康
13	R5.12.21	(木)	3	臨床倫理入門 1(症例提示とグループワー ク)	医療情報部	西川 彰則
14	R5.12.21	(木)	4	臨床倫理入門 1(症例提示とグループワー ク)	医療情報部	西川 彰則